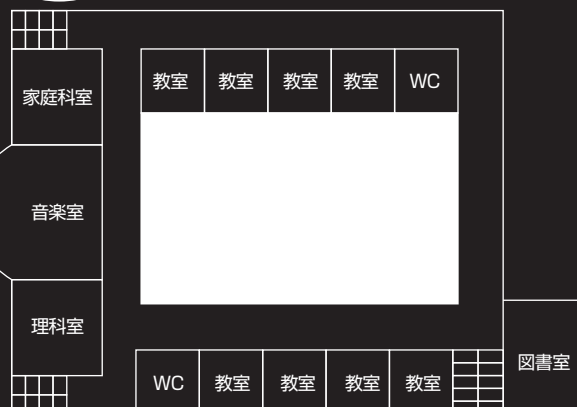
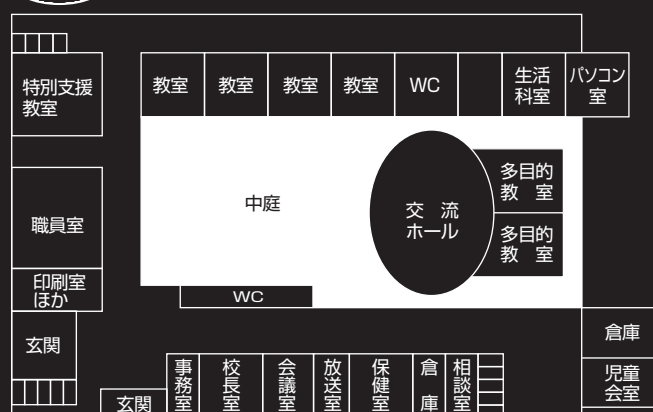


御船小新校舎の間取り図

2階



1階



Special Topics

思い出と

歴史を紡ぐ新校舎へ



愛される新校舎へ

新校舎の一期改築工事が完了した御船小学校（佐藤公一郎校長、323人）で完成を祝う式が3月26日、新校舎の中庭で開かれました。

旧校舎は、町内の学校施設では最も古い昭和42年建築で、老朽化や耐震問題が指摘されていました。教育委員会は平成21年5月に、建設検討委員会を立ち上げ、校舎改築に向けて協議を開始。基本計画や実施設計の審議などを経て、平成22年7月に工事を着工して、このほど一期工事を終えました。

式では、佐藤公一郎校長が「この校舎は、みんなが大人になって、結婚して、その子どもがまた入学してくる校舎。50年後も、100年後も、大切に使用してほしい」とあいさつ。同校金管バンド部の演奏で、校舎完成に花を添えました。

式終了後、児童、保護者、職員は旧校舎から、机や本、楽器などの愛用品を新校舎へ運び、引っ越し作業に汗を流していました。

新校舎は、鉄鋼造二階建て、延べ床面積は3610平方メートル。教室、音楽室、廊下などの壁や床には木材をふんだんに使用した

ほか、校舎中央に中庭を設けた造りが特徴。建築費総額は約8億8300万円で、工期は平成22年7月から平成24年1月までの2カ年事業です。平成23年度は、旧校舎を解体後、新校舎東側に▽交流ホール▽多目的教室▽パソコン室▽図書室などを整備します。

学校生活がスタート

御船小学校（同、314人）で4月11日、入学式が行われ、新入学児童52人が夢や希望を胸に、小学校生活をスタートさせました。

新校舎ができて思ったこと――

「旧校舎ありがとう。新校舎よろしくお願ひします」。最初は新校舎ができることを楽しみに思って、旧校舎のことはどうでもいいかのように思っていました。ありがとうなどと、これっぽっちも思っていないでした。

でも、東日本大震災のニュースを見て、いつも安心して暮らせているのは、周りの人々のおかげで、いつも楽しく勉強できているのも、学校や先生のおかげだということに気づき、旧校舎への感謝の気持ちを持ちました。感謝の気持ちに気づけたからこそ、新校舎での一つ一つの活動、そして掃除など、心を込めて頑張りたいと思います。

旧校舎は無くなってしまいましたが、旧校舎での思い出も持って引っ越したいと思ひます。この校舎を造ってくださった、たくさんの方々へ感謝の気持ちを忘れず、4月からみんなで元気に過ごしていきます。

平成23年3月26日 御船小5年 森田愛加



3



2



1

1_新校舎中庭で開かれた「新校舎を祝う会」には、児童、職員、工事関係者などが参加して行われた 2_入学式を終えて、笑顔をほころばせながら教室へと戻る児童 3_友達と互いに成長していく教室で教科書を眺める児童